

発表項目 (行事名)	北海道胆振東部地震に係る森林造成実証試験の実施について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>北海道胆振東部地震による大規模な林地崩壊箇所を対象に、被害の状況に応じた効率的な復旧方法を検証するための実証試験を実施することとし、次のとおり業務委託契約を締結した。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 委託業務名：令和元年度 大規模崩壊地森林造成実証試験委託業務 2 委託期間：令和元年(2019年)8月27日～令和2年(2020年)2月28日 3 委託先：地方独立行政法人 北海道立総合研究機構(林業試験場) 4 業務の内容(詳細は別紙のとおり) <ol style="list-style-type: none"> ① 植生基盤評価を簡易に判定する手法の開発 植生基盤としての土壌条件を土壌の硬さや透水性等から3区分に評価し、林業関係者等がこの評価内容を簡易に判定できる手法を開発する。 ② 実証試験の実施 植生基盤が異なる箇所において、様々な樹種や土壌改良の有無などによる植林のほか、緑化や自然回復など、森林の造成方法に関する試験区を設定し、それぞれの生育状況を検証する。 5 今後の予定 <ol style="list-style-type: none"> 9月～ 緑化試験区の設定 10月～ 植栽試験区の設定 11月 胆振東部森林再生・林業復興連絡会議の開催 		
参考	当該実証試験は、本年4月に策定した「北海道胆振東部地震による被災森林の再生に向けた対応方針」に基づき実施するものです。		
報道(取材)に当たってのお願い			
他のクラブとの関係	同時配付(場所)	同時レク	
担当(連絡先)	水産林務部林務局森林整備課(担当者：主幹 小南雅誉) TEL ダイヤルイン 011-204-5505 内線 28-602		

北海道胆振東部地震に係る森林造成実証試験について

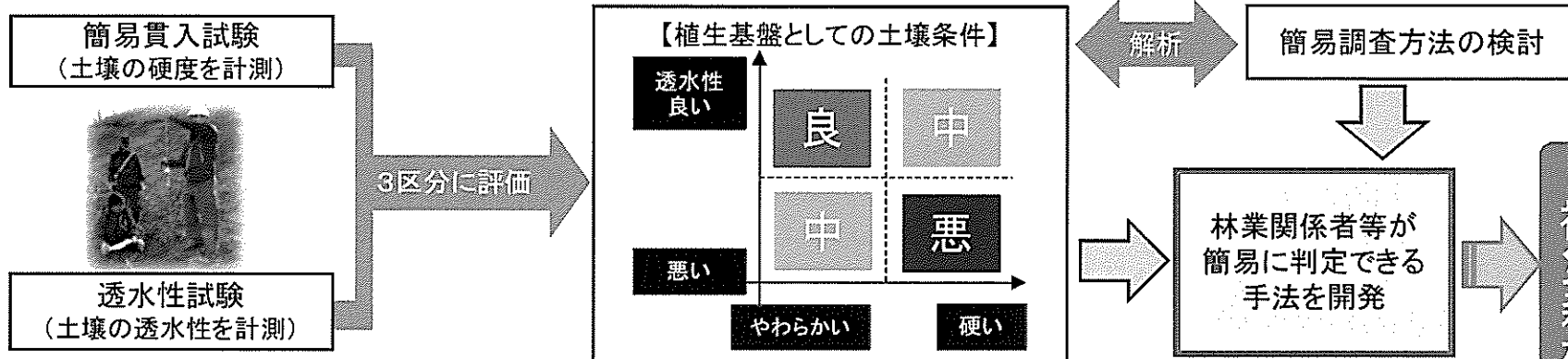
- 明治以降最大規模となる約4千3百ヘクタールの林地崩壊が発生。
 - 道内では、大規模な林地崩壊により山肌が露出した斜面等に植林や緑化等を行った事例がない。
- 植林等に関する実証試験を行い、その成果を踏まえて被災森林の造成を順次、進めていく。

実証試験委託業務の概要

実施期間：令和元年度～3年度(予定)

委託先：地方独立行政法人 北海道立総合研究機構(林業試験場)

1. 植生基盤評価を簡易に判定する手法の開発



2. 実証試験の実施 (道有林及び町有林のフィールドを活用)

区分		植生基盤			摘要
		良	中	悪	
植栽試験区 (シカ柵設置)	通常植栽	○	○	○	良・中は各5樹種、悪は6樹種を植栽
	土壌改良A	○	○	○	各5樹種を植栽 バーク堆肥
	土壌改良B	○	○	○	各5樹種を植栽 バーク堆肥+発酵堆肥
	コンテナ苗	○	○	○	各2樹種を植栽
緑化試験区 (シカ柵設置)	緑化A	○	○	○	外来緑化植物(種子入り)を活用
	緑化B	○	○	○	在来緑化植物(自然種子)を活用
自然回復区		○	○	○	

植生基盤に応じた樹木等の生育状況を検証

※ 植栽樹種は、カラマツ、トドマツ、アカエゾマツ、ケヤマハンノキ、ミズナラの5樹種(通常植栽の悪はクリーンラーチを含む6樹種)。コンテナ苗は、カラマツ、トドマツの2樹種。

被災森林の造成を推進